Kodak

EasyShare　M580

コダック

イージーシェア M580 デジタルカメラ

日本語版 ユーザーガイド

Kodak EasySharen M580 デジタルカメラ 取扱いのご注意

本製品は、電子機器です。
ご使用環境や使用状況・保管時の環境によっては、正しく動作しなくなるだけでなく故障を引き起こします。次のような環境での使用・保管も避けてください。

- ・湿気などの強いところ
- ・自動車内など密閉されて直射日光が当たり、極度の高温･低温になるところ
- ・カメラが濡れる可能性のある場所や湿気などの多いところ
- ・海岸の砂浜や乾燥地など、塩分や砂塵の影響が懸念されるところ
- ・作業現場などホコリや飛散物の多いところ
- ・振動等が激しいところ
- ・油煙や湯気などのあるところ
- ・強い磁場の発生するところ
- ・防腐剤、防虫剤などの薬品や各種化合物に長時間接触するところ

強い振動・ショック・圧迫を与えないで下さい。変形・破損し故障する可能性があります。
液晶画面部分は特にご注意下さい。
落下・衝撃・圧迫・水濡れなどのお客様のお取扱いに関連して故障した場合は、製品保証期間内でも保証対象外になります。

デジタルカメラで撮影した画像・動画データは、必ずバックアップを行ってください。
万一、不測の事故により、データの破損・消失が発生してもその責は負いかねます。
本製品のお取扱いには十分ご注意ください。

M580 デジタルカメラ　ユーザーガイド　もくじ

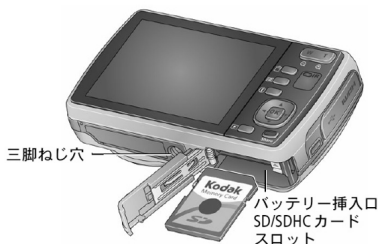
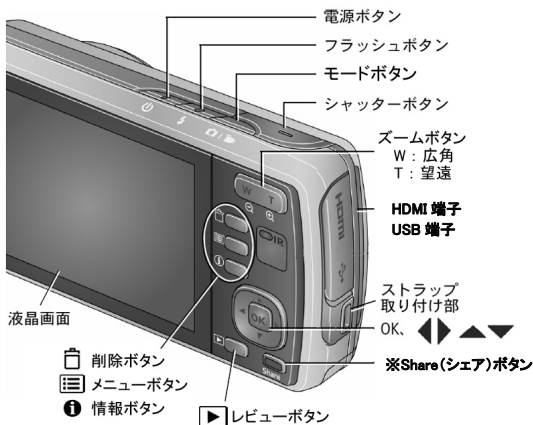
付属品の確認

EasyShare M580 デジタルカメラをお求めいただき、誠にありがとうございます。

開封後、すぐに以下のパッケージ内容を確認してください。

- EasyShare M580 カメラ本体
- リストストラップ
- ユーザーガイド（この冊子）
- 充電式リチウムイオンバッテリー（KLIC-7006）
- USBケーブル
- バッテリー充電器
- バッテリー充電器用ACプラグ（日本用/海外用）
  （※海外用は日本国内では使用しません）
- 保証書

各部の名称（前面）

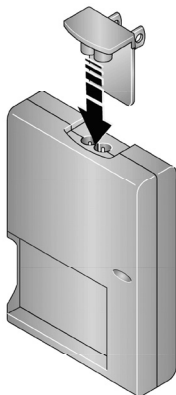
各部の名称(背面)

※Shareボタンについて

本体背面にある「Shareボタン」は日本国内では使用いたしません。
これは、Shareボタンに対応する「Kodak Gallery」というサービスが日本国内では
実施されていない事によります。何卒ご了承ください。

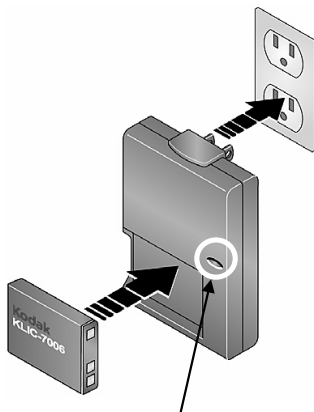
1　バッテリーの充電

最初にカメラを使用する前に、必ず付属の充電器でバッテリーを充電してください。

バッテリー充電器での充電

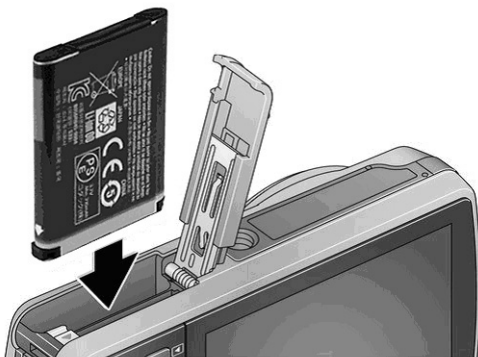
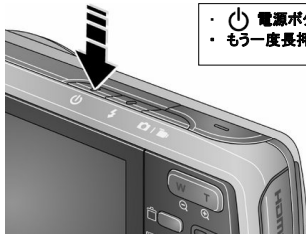
① バッテリー充電器本体に、日本用 AC プラグをしっかり取り付けます。

② 付属のバッテリー（KLIC-7006）を装着し、コンセントに差し込みます。

■充電ランプの点灯表示

オレンジ ： 「充電中」を示します。
緑 ： 「充電完了」を示します。

【ご注意】
海外用のプラグが同梱されていますが、日本国内では使用しません。

専用バッテリーの装着

充電済みのバッテリーを、カメラに正しく装着します。

バッテリーの向きに注意してください。
Kodakのロゴマークがレンズ側(液晶画面の反対側)を向きます。

電源のオン/オフ

- 電源ボタンを約 1 秒間、長押しします。
- もう一度長押しすると、電源がオフになります。

言語選択／日付と時刻の設定

【重要：必ずお読みください！】
最初に電源を入れた直後は、英語（English）の言語選択画面が表示されています。
この状態から、以下の手順で日本語表示に変更してください。

■初めて起動する時の言語設定 → 日付／時刻の設定

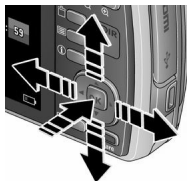
① 言語選択の画面で英語（ENGLISH）が表示されています。
② 十字ボタンの 下 を何回か押して **『日本語』** を選択し、
　OK ボタンを押すと、日本語表示に変更されます。

（※ここで、すでに**「日本語」**が選択されている場合は、
そのまま OK ボタンを押すと日本語表示になります）

初めての設定では
下に 9 回押して「日本語」を選びます

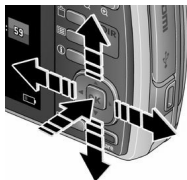
③ この後、以下 **「日付/時刻の設定」** の手順④～⑥を続けて行います。

（日付/時刻の設定）

④ 各項目を 十字ボタンの 上・下 で変更します。
　［ 年月日の表示順 ・ 年 ・ 月 ・ 日 / 時 ・ 分 ］
⑤ 十字ボタンの 右 で、となりの項目に移動します。
⑥ すべての項目を正しく入力したら、OKボタンを押します。
（※最後にOKボタンを押さないと、設定が有効になりません）

■日付／時刻の設定をやりなおす （日付がリセットされた時）

一度、日付／時刻の設定を行っても、バッテリーが消耗してから長期間経過したり、
バッテリーを抜いた状態で放置した場合、日付／時刻がリセットされてしまう事があります。

この場合、以下の手順で日付／時刻を設定しなおします。

① カメラの電源を入れ、メニューボタン を押します。
② 十字ボタンの 左・右 で ［設定］オプション に移動します。
③ 十字ボタンの 下 を何回か押して ［ 日付/時刻 ］を選択し、
OKボタンを押します。
④ 各項目を 十字ボタンの 上・下 で変更します。
［ 年月日の表示順 ・ 年 ・ 月 ・ 日 ／ 時 ・ 分 ］
⑤ 十字ボタンの 右 で、となりの項目に移動します。
⑥ すべての項目を正しく入力したら、OKボタンを押します。
（※最後にOKボタンを押さないと、設定が有効になりません）

■本機の日付写し込みについて

本機は、自動的に日付を入れて撮影することはできません。

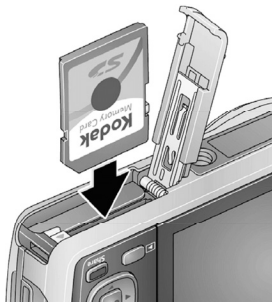
撮影日付は、画像の再生時に後から付け加えることができます。

（日付写し込みの機能については、

→ 28ページ 「日付写し込みの追加」 をご覧ください）

2　SD／SDHC カードを使用する

カメラには内蔵メモリーが搭載されていますが、多くの画像を撮影するには一般的なSDカード、またはSDHCカード（別売・市販品）をお使いください。
SDカード、SDHCカードは一般のカメラ店、パソコン販売店、電機店などの販売店で購入することができます。**（※最大32 GBまでのSD／SDHCカードで動作確認済み）**

【注意】
カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。
カメラの電源が入っているときにカードの挿入や取り外しを行うと、カメラの故障やカードの破損の原因となることがあります。

1. カメラの電源をオフにします。
2. カードの向きに注意して、カメラに挿入します。
（奥に止まるまで押し込みます）
3. カメラの電源をオンにします。

■SDカードの取り外し
カメラに装着されたSDカードを取り外すには、カードの端の部分を指先で少し押し込んでから離すと、カードが出てきます。

■静止画撮影枚数の目安　（撮影枚数は撮影状況により異なります）

		14.0MP (4：3)	12.6MP (3：2)	10.7MP (16:9)	6MP (4:3)	3MP (4:3)	2MP (16:9)	1MP (4:3)
内蔵メモリー (※1)	64MB	9	10	12	18	30	38	50
SD／SDHC カード	1GB	210	236	272	416	680	868	1131
	2GB	437	488	564	862	1410	1773	2299
	4GB	847	947	1094	1672	2736	3439	4458
	8GB	1695	1895	2190	3344	5472	6878	8916

■動画撮影時間の目安　（撮影時間は撮影状況により異なります）

		1280 x 720(HD 720p)	640 x 480(VGA)
内蔵メモリー (※1)	64MB	撮影できません	1 分 50 秒
SD／SDHC カード	1GB	約 14 分 50 秒	43 分 25 秒
	2GB	約 29 分（※2）	86 分 10 秒
	4GB	合計　約 58 分（※2）	約 2 時間 47 分（※3）
	8GB	合計　約 1 時間 55 分（※2）	合計　約 5 時間 40 分（※3）

（※1）　内蔵メモリーは、画像記録用として約 32MB が使用可能です。

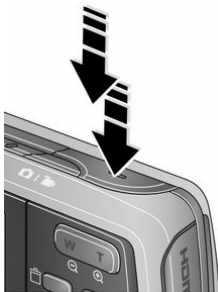
（※2）　1280 x 720(HD 720p)　の場合、1回の撮影時間は最長で約 29 分となります。

（※3）　640 x 480(VGA)　1ファイルあたり 4GB（およそ 2～3 時間）を超える動画は撮影できません。

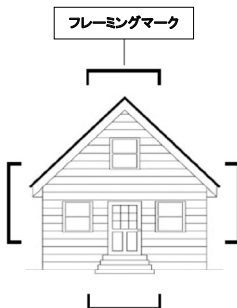
注意：　ファイルサイズは一定ではありません。画像撮影枚数、動画記録時間は撮影状況により異なります。

動画の撮影途中でバッテリーがなくなると、動画ファイルが正常に保存されずに終了することがあります。
長時間撮影の際は、バッテリー残量にご注意ください。

3　撮影する

静止画の撮影

1. 電源をオンにすると、カメラがスマートキャプチャー（全自動）モード で起動します。
2. 液晶画面で構図を決めます。
3. シャッターボタンを半押しすると、カメラが自動的にピント合わせを行います。
4. フレーミングマークが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し込みます。

■画面のフレーミングマークについて

フレーミングマークは、カメラのピントが合っている場所を示します。

1. シャッターボタンを半押しして保持します。

   もし希望の場所にピントが合わなかったら、一度シャッターボタンを離し、構図を少し変えてみます。

2. フレーミングマークが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し込みます。

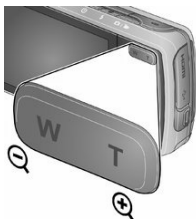
※フレーミングマークは、動画または一部のシーンモード（遠景・夜景・花火など）では表示されません。

撮影した画像のクイックビュー

画像を撮影した直後、液晶画面にクイックビューが約5秒間表示されます。
画像の表示中にシャッターボタンを軽く半押しすると表示が消え、次の撮影準備画面になります。
撮影された画像は削除ボタンを押さない限り保存されます。

ズームを使用する

■光学ズーム

8倍までの光学ズームを使用できます。

1. 液晶画面で構図を決めます。

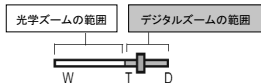
2. ズームするには、**Tボタン（望遠）** を押します。
　広角側に移動するには、**Wボタン（広角）** を押します。

3. シャッターボタンを押して撮影します。

【ご注意】
高倍率のズームでは、手ブレが起こりやすくなります。
できるだけ三脚など使い、カメラを安定させた状態で
撮影してください。

■デジタルズーム

デジタルズームを使用すると、光学ズームよりさらに 5 倍まで被写体を大きく拡大できます。

望遠（T）を押し続けると、光学ズーム範囲の上限でいったん停止します。
デジタルズームを使うときは、望遠（T）ボタンを離してから、もう一度押します。
（スマートキャプチャーモードではデジタルズームを使用できません。）

※デジタルズームは、光学ズームより画質が低下します。

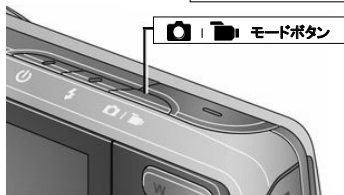
フラッシュを使用する

フラッシュボタンを押すごとに、フラッシュ発光モードが切り替わります。
現在のフラッシュモードは液晶画面の左上部に表示されます。
（各フラッシュモードについては、下の表をごらんください。）

フラッシュモード		発光
オート		フラッシュが必要な明るさで自動的に発光します。
強制発光		明るさに関係なく、撮影するたびに必ず発光します。 被写体が暗い場合や「逆光」の場合に使用します。 注: スマートキャプチャーモードでは選択できません。
赤目軽減発光 ※赤目補正の方法は 2 種類のどちらかを ［設定］メニューで 選択します。		プレ発光： 目がフラッシュに慣れるように一度発光し（プレ発光）、 撮影する時にもう一度発光します。
		デジタル修正： プレ発光は行わず、赤目は撮影後にデジタル修正 でれます。 注: デジタル修正は、プレ発光のときよりも補正に 時間がかかります。 また、まれに目以外の赤いものを黒く補正してしまう ことがあります。
オフ		発光しません。

撮影モードの切換

ほとんどの場合、スマートキャプチャーモード で撮影できます。
その他に、モードボタンで撮影モードを切り替えることもできます。

1. モードボタン を押します。
2. 十字ボタンの上下（▲／▼）で撮影モードを選択し、
   OK ボタンを押します。

撮影モード		説明
	スマートキャプチャー	通常撮影全般におすすめのモードです。 簡単な操作で優れた画質を実現できます。
	動画	音声付きの動画を撮影します（16 ページを参照）。
P	プログラム	スマートキャプチャーよりも細かい設定が可能です。 上級者におすすめのモードです。
SCN	シーンモード	特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で撮影する ことができます。 （15 ページを参照）

シーンモード（SCN）を使用する

シーンモードでは、特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で撮影することができます。

1. モードボタン を押します。
2. 十字ボタンの上・下（▲/▼）で 「SCN」 を選択し、OKを押します。
3. 十字ボタンでシーンモードを選び（各シーンの説明が表示されます）、OKを押します。

SCN（シーンモード）	説明
ポートレート	人物の撮影に適しています。
遠景	遠距離の風景に適しています。
マクロ	非常に近い距離の被写体に適しています。 フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。
フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。
サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。
逆光	逆光での撮影に適しています。
キャンドルライト	キャンドルのような弱い光源下での撮影に適しています。
チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。
マナー／美術館	静かな場所での使用に適しています。 フラッシュとサウンドは使用できません。 ブレやすくなりますので三脚を使用してください。
書類	書類の撮影に適しています。 ブレやすくなりますので三脚を使用してください。
ビーチ	砂浜での撮影に適しています。
スノー	雪景色の撮影に適しています。
花火	花火の撮影に適しています。
セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。 ピントを適切に合わせ、赤目を軽減します。
夜景ポートレート	夜景や光の弱い場所での人物撮影で起こりやすい赤目を軽減します。
夜景	遠距離の夜景撮影に適しています。フラッシュは発光しません。 ブレやすくなりますので三脚を使用してください。
流し撮り	水平方向の動きを強調しながら撮影します。 動きのある被写体のスピード感を表現します。
高 ISO 感度	室内や暗い環境での撮影に適しています。
スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。
パノラマ	連続して撮影された 2 枚または 3 枚の画像をつなぎあわせて、 パノラマ画像を完成させます。

動画の撮影

1. モードボタンを押します。

2. 十字ボタンの上・下（▲/▼）で
［動画］ を選択し、OK を押します。

3. シャッターボタンを押し込むと、撮影がスタートします。
もう一度シャッターボタンを押し込むと、撮影が停止します。

［動画サイズ］でお好みのサイズを選択します。

■1280 x 720 (HD720p) 画面比率 16:9
ハイビジョンTVへの出力等に適します（カメラの液晶画面では上下にフチが出ます）。
データ容量が大きくなります。

■640 x 480 (VGA) 画面比率 4:3
一般的なサイズです。コンピュータで再生するのに適します。

動画ファイルについて

■ 本機で撮影した動画を、他のデジタルカメラ・ピクチャーフレーム等で再生することはできません。
■ 動画のファイルフォーマットは MOV（H.264/MPEG4 AVC） です。
■ 静止画のファイルフォーマットは JPEG です。

■ コンピュータでハイビジョン動画をスムーズに再生するには、少なくともデュアルコア以上のプロセッサ、2GB以上のメモリが必要です。
■ Windowsのコンピュータでは、別途 Quicktime Player のインストールが必要になることがあります。
Quicktime Player は、Apple社のホームページ
http://www.apple.com/jp/quicktime/ から無償でダウンロードできます。

■ 動画の撮影途中でバッテリーがなくなると、動画ファイルが正常に保存されずに終了してしまうことがあります。 長時間撮影の際は、バッテリー残量にご注意ください。

ショートカット機能

撮影時よく使う機能にアクセスしやすいように、ショートカット機能が使用できます。

1. 情報ボタン を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で 機能（露出補正／セルフタイマー／AF モード）を選択します。
   十字ボタンの 上・下 で、設定値を選択します。

ショートカットを消すには、もう一度 ボタンを押します。

スマートキャプチャーモードでは、セルフタイマー／連写の機能だけが選択できます。

セルフタイマー／連写の使用

自分も一緒に写りたい時や、シャッター操作による手ぶれを軽減したいときは、セルフタイマーを使用します。平らな場所や三脚などにカメラを固定してください。

連写モードでは、最高3枚までの連続撮影をすることができます。

1．　メニューボタン を押します。十字ボタンの上・下（▲/▼）で **［セルフタイマー／連写］** を選択し、OKボタンを押します。

2．　十字ボタンの上下（▲/▼）で、セルフタイマー／連写　の設定を以下から選択し、OKボタンを押します。

オフ	セルフタイマーは動作しません。
10 秒タイマー	シャッターを押してから 10 秒後にシャッターが切れます。
2 秒タイマー	シャッターを押してから 2 秒後にシャッターが切れます。
2 連写タイマー	10 秒後に 1 回目、さらに 8 秒後に 2 回目のシャッターが切れます。
連写オン	最高 3 枚までの連続撮影ができます（※セルフタイマーではありません）。

3．　構図を決め、シャッターボタンを押して撮影します。
（連写中はシャッターボタンを押したままにします。）

※一部のシーンモード（パノラマなど）では、「2連写タイマー」「連写」が選択できません。

パノラマ画像の撮影

パノラマ機能は、連続して撮影された2枚もしくは3枚の画像をステッチ（つなぎあわせ）して、ワイドな画像を完成させます。パノラマ機能はシーンモード（SCN）の中にあります。

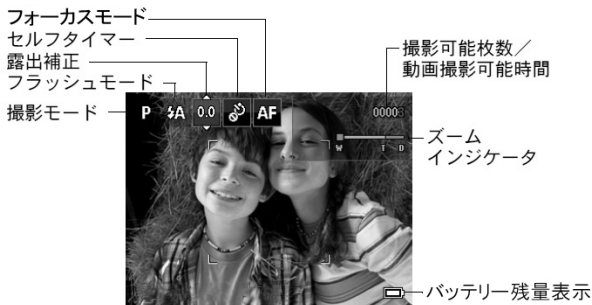
1．　モードボタンを押し、十字ボタンの上・下で **「SCN」** を選択し、OKボタンを押します。
2．　シーンモードの中から、十字ボタンで **［パノラマ］** を選択し、OKボタンを押します。

3．　十字ボタンの　左・右　で ［**パノラマ（左→右）**］ または ［**パノラマ（右→左）**］を選択し（撮影する方向によって異なります）、OK ボタンを押します。
4．　1枚目の画像を撮影します。
液晶画面には、クイックビューが表示された後、ライブビューと1枚目の画像の「オーバーレイ」が表示されます。
5．　2枚目の構図を決めます。1枚目の画像のオーバーレイが、2枚目の画像の同じ位置に重なるようにします（1枚目の撮影をやり直す場合は、削除（ゴミ箱）ボタンを押します）。
6．　撮影を2枚でやめる場合は、OKボタンを押すと、画像のステッチ処理が開始します。
3 枚撮影すると、画像は自動的にステッチされます。クイックビューは約 5 秒間液晶画面に表示されます。

2枚または3枚を続けて撮影します。

カメラ内で自動的にステッチされ、一枚のパノラマ画像になります。

撮影時のアイコン表示について

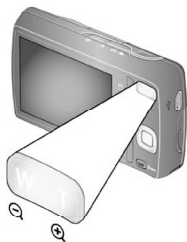
（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

バッテリー残量が十分にあるとき、バッテリー残量表示アイコンは表示されません。
（ショートカットを表示している時は、バッテリーの残量アイコンが常に表示されます。）

4　画像の再生・編集

静止画の再生

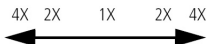
1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で前／次の画像に移動します。(3:2 または 16:9 で撮影された画像は、上下に黒いフチが出ます)

- レビューボタンを押すと、撮影モードに戻ります。
- 広角(W)ボタンを押すと、サムネイル表示になります。

画像の拡大表示

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. レビューモードで望遠(T)ボタンを押すと、2倍～8倍まで拡大表示できます。
3. 十字ボタンで、画像の表示したい部分を動かします。

- OK ボタンを押すと、画面全体の表示に戻ります。

動画の再生

再生速度

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で再生する動画を選びます。
3. OK ボタンを押すと、動画が再生されます。
4. 十字ボタンの 上・下 で音量を調整します。

- 再生中に 右 を押すと、2倍速で再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。
- 再生中に 左 を押すと、2倍速で逆方向に再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。

画像の削除

保存されている画像を削除します。

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの　左・右　で削除したい画像を選びます。
3. 削除ボタン を押します。
4. 十字ボタンの上・下（▲/▼）で、以下のいずれかを選択し、OK ボタンを押します。

［すべて］　現在保存されているカード（または内蔵メモリー）にある画像がすべて削除されます。
［この画像］　いま表示されている画像 1 枚だけが削除されます。
［終了］　削除を行わず、レビュー画面に戻ります。

※保護されている画像は削除されません。

削除の取り消し機能

画像を誤って削除した場合、直前の1コマに限り、削除を取り消して復元することができます。
十字ボタンの　上・下　で　**［削除の取り消し］**　を選択し、OK を押します。

画像の保護

大切な画像を誤って削除しないように、保護することができます。

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの　左・右　で保護したい画像を選びます。
3. メニューボタン を押します。
4. 十字ボタンの　上・下　で　**［画像の保護］**　を選択し、OK ボタンを押します。
5. さらに、十字ボタンの　上・下　で　**［画像の保護］**　を選択し、OK ボタンを押します。
   ［画像の保護］の左側にチェックマークがつきます。**［完了］**を選択し OK ボタンを押します。
6. メニューボタン を押して、メニューを終了します。

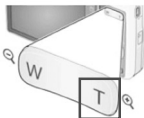
レビュー（再生）モードでは、保護された画像に鍵のマーク が表示されます。
保護を解除するには手順1から同じ操作を行い、手順5で**［画像の保護］**についたチェックマークを外します。

ご注意：
フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像が削除されます。

画像のサムネイル表示（一覧表示）

画像をサムネイル形式で一覧表示する事ができます。

1. レビューボタン ▶ を押して、撮影した画像を表示させます。
2. **広角（W）ボタン** を押すと、サムネイル表示になります。
   もう一度 **W ボタン**を押すと、さらに小さなサムネイル表示になります。

   サムネイル画面では、「お気に入り」「日付」「タグ付きの画像」を
   それぞれのタブに分けて整理できます。

3. **望遠（T）ボタン**を押すと、画像の 1 枚表示に戻ります。
   レビューボタン ▶ を押すか、シャッターを軽く半押しすると
   撮影画面に戻ります。

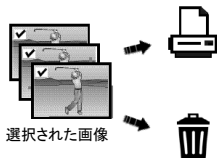
複数画像の選択

複数の画像をまとめてプリントしたり削除する場合は、複数選択機能を使います。
複数選択機能は、サムネイル表示とあわせて使うと便利です。

1. レビューボタン ▶ を押し、十字ボタンの
   左・右 で画像を選択します。

2. OK ボタンを押すと、その画像の左側にチェック
   マークが表示され、選択対象になります。

   選択した画像はまとめてプリントしたり、削除する
   ことができます。選択を解除するには、もう一度
   OK ボタンを押すとチェックマークが消えます。

選択された画像

画像のタグ付け

画像に「タグ」をつけると、後で必要な画像を探しやすくなります。
画像にタグをつけるには、以下の２つの方法があります。

■人物名のタグを付ける

1. レビューボタン▶を押します。
2. 十字ボタンの左・右で、人物の顔が含まれている画像を表示します。
3. メニューボタン☰ を押します。十字ボタンの上下で ［**人物のタグ**］ を選択し、OKボタンを押します。
4. 十字ボタンの上・下で ［**タグの適用**］ を選択し、OKボタンを押します。
5. 「名前の割り当て」 の画面に移ります。
   十字ボタンの上下で既存の名前を選択するか、［**新しい名前の入力**］ を選択して新しい人物名を入力します。 ※英数のみ。日本語の入力はできません。

   顔が正面を向いていない、カメラからの距離が遠すぎる、顔と背景のコントラストが低い といった画像の場合、顔をうまく認識できないことがあります。

■キーワード（場所・イベントなど）のタグを付ける

1. レビューボタン▶を押します。
2. 十字ボタンの左・右で、場所・イベントなどのタグを付けたい画像を表示します。
3. メニューボタン☰ を押します。十字ボタンの上・下で ［**キーワードタグ**］ を選択し、OKボタンを押します。
4. 十字ボタンの上・下で 既存のキーワードを選択します。
   新しくキーワードを設定する場合は［**新しいキーワード**］ を選択し、OKボタンを押した後、新しいキーワードを入力します。 ※英数のみ。日本語の入力はできません。

5. 十字ボタンの左・右で他の画像を選び、その画像にキーワードタグを追加します。
   キーワードタグが適用されると、そのキーワードの左側にチェックマークがつきます。
6. 操作が完了したら、十字ボタンの上・下で ［**完了**］ を選択し、OKボタンを押します。

効率よく画像を検索する

画像に人物や「タグ」（人物名やキーワード）を付けておくと、見たい画像を後で検索しやすくなります。
例えば、「Mary」といった人物名、「Tokyo」などの地名（キーワード）などでタグを付けられます。
その他、撮影日やお気に入りの指定を条件にして、検索することもできます。
（※日本語でタグをつけることはできません）

1. レビューボタン ▶ を押します。 画像の1枚表示になります。

2. 広角（W）ボタンを押して、サムネイル表示に切り替えます。

3. 十字ボタンの上・下（▼/▲） を押して、画面上部の「タブ」を選択します。

   十字ボタンの左右◀▶で、タブを切り替えます。

   ［すべて］　全画像のサムネイルを表示します。
   ［日付］　撮影日ごとに画像を並べて表示します。
   ［人物］、［お気に入り］、［キーワード］　設定されたタグ別に画像を表示します。

4. ◀▶▲▼を押して、希望の画像を選択します。

   日付表示の重なった画像、または 1 枚の画像を見るには、見たい日付（画像）を選択して望遠（T）を押します。
   また、日付表示に戻るには、広角（W）を押します。
   撮影モードに戻るには、シャッターボタンを半押しします。

・サムネイル表示から 1 枚の画像を見る
・日付表示の重なった画像を開く
→望遠（T）ボタン

・サムネイル表示
・日付表示の重なった画像の状態にする
→広角（W）ボタン

レビューモードの操作オプション

1. レビューボタン を押し、その後、メニューボタン を押します。

2. 上にある3つのタブを、十字ボタンの **左・右** で選択します。

   - ［再生］ **オプション** → 画像の選択・保護・プリント指定 などを行います。
   - ［編集］ **オプション** → 画像のトリミング・コピー などを行います。
   - ［設定］ **オプション** → カメラ本体の設定を行います。

3. OK ボタンを押すと、その項目に入ります。

4. 各項目を設定し、OKボタンを押します。

画像のトリミング

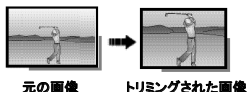
画像の不要な部分をトリミングして、必要な部分だけを切り取ることができます。

1. レビューボタン を押し、十字ボタンの **左・右** で画像を選びます。

2. メニューボタン を押し、**左・右** ボタンで ［**編集**］オプション を選択します。
3. 十字ボタンの **上・下** を押して ［ **トリミング** ］ を選択し、OK ボタンを押します。

4. 十字ボタンの **上・下・左・右** でトリミング枠を動かします。 W／T ボタンでトリミングの枠を拡大／縮小します。トリミング範囲を設定したら、OK ボタンを押します。

5. 「トリミングされた画像を保存しますか？」と表示され、**［はい］と［いいえ］**の選択画面が表示されます。
   そのまま OK ボタンを押すと、トリミングした画像を保存します。
   トリミングした画像は元の画像とは別に保存されます。

元の画像　　**トリミングされた画像**

画像のコピー

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、
画像をコピーすることができます。

■コピーの前にご確認ください

・SD カードがカメラに正しく装着されていることを確認します。
・カメラの「画像保管場所」がコピー元の場所に設定されていることを確認します。
（※「画像保管場所」については、**34 ページ**をご確認ください）

■画像をコピーする方法

1. レビューボタン ▶ を押し、メニューボタン を押します。
2. 十字ボタンの **左・右** で **[編集]**オプション に移動します。
3. 十字ボタンの **上・下** で **[コピー]** を選択し、OK ボタンを押します。
4. **「メモリーカードへコピー」**（または内蔵メモリーへコピー）の画面で、以下のいずれかを選択します。

   ・ **写真**:　今表示されている画像をコピーします。
   ・ **すべて**: 現在の画像保管場所（カード/内蔵メモリー）にある、すべての画像をコピーします。
   ・ **選択済みすべて**: 選択された画像すべてをコピーします。
   （※「選択済みすべて」は、レビューモードで選択された画像が複数ある時だけ表示されます）

5. OK ボタンを押すとコピーが開始します。コピーが終了するまでお待ちください。

【ご注意】 画像は「移動」ではなく「コピー」されます。
コピー元の画像が必要でなければ、コピー先の画像を確認してから、これらを削除してください。

※プリント指定、画像の保護などの設定はコピーされません。

日付写し込みの追加

撮影した画像に撮影日付の写し込みを行います。

1. レビューボタン ▶ を押して、 十字ボタンの 左・右 で画像を選びます。
2. メニューボタン を押し、左・右 ボタンで [**編集**]オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 上・下 を押して [**日付写し込みの追加**]を選択し、OKボタンを押します。
4. 「日付写し込みは、一度追加すると画像から削除できません。この画像に日付写し込みを追加しますか？」 と表示され、[**はい**] [**いいえ**] の選択画面が表示されます。
   そのまま OK ボタンを押すと、画像に日付が写し込まれた状態で上書き保存されます。
5. メニューボタン を押して、メニューを終了します。

※現在の時刻ではなく、撮影した日が書き込まれます。
※画像に写し込んだ日付は、一度追加すると削除・変更できません。

※日付の写し込みの書式 （年・月・日の表示順） は、[日付／時刻]の設定が反映されます。時刻を写し込むことはできません。
（→ [日付／時刻]の設定については、7 ページをご確認ください）

※日付は、撮影した時のカメラの向き（縦位置・横位置）に関係なく、カメラを横位置で構えたときの右下 に写し込まれます。

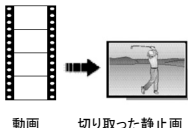
動画の編集

■動画から静止画を作成する

動画からフレームを1つ選択して、静止画を作ることができます。

1. レビューボタン ▶ を押して、十字ボタンの 左・右 で編集する動画を選びます。
2. メニューボタン を押し、十字ボタンの 左・右 で[**編集**]オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 下 を押して [**静止画作成**]を選択し、OKボタンを押します。
4. OKを押して動画を再生し、希望の場所で再度、OKを押します。
5. 画面の指示にしたがって、作成された静止画を保存します。
   （元の動画はそのまま残っています）。

・ メニューボタン を押して、メニューを終了します。

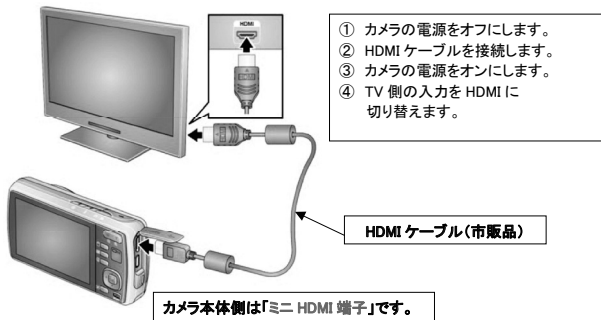
動画　　切り取った静止画

■動画のトリミング

動画の最初や最後の不要な部分をトリミングして、必要な部分だけを保存できます。

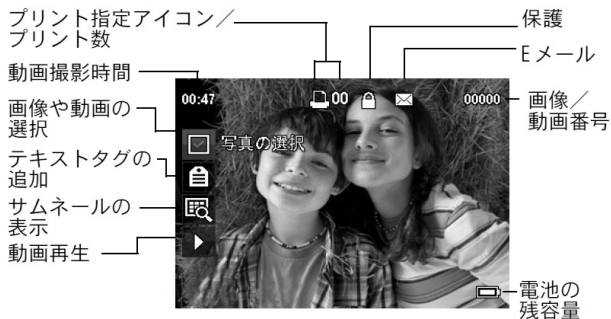
1. レビューボタン ▶ を押して、 十字ボタンの 左・右 で動画を選びます。
2. メニューボタン を押し、左・右 ボタンで ［**編集**］オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 上・下 を押して ［ **トリミング** ］を選択し、OKボタンを押します。
4. 画面の指示にしたがって、トリミングされた動画を保存します。
5. 画面の指示にしたがいます。必要に応じて早送りと巻き戻しを使用します。
6. トリミングされた動画を元の動画と別に保存するか、元の動画と置き換えるかを選択し、OKボタンを押します。

・ メニューボタン を押して、メニューを終了します。

TV で画像を表示する（HDMI 接続）

市販の HDMI ケーブル（別売）を使用して、HDMI 入力端子を装備した TV にカメラを接続し、大画面で楽しむことががきます。
（※HDMI 入力端子の付いていない TV には接続できません）

ご注意：
ケーブルの接続と取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。
電源をオンにしたまま行うとカメラが故障したり、記録された画像やメモリーカードが破損することがあります。

レビューモードのアイコン表示

（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

5　カメラの設定について

カメラのカスタマイズ

よりよい撮影結果を得るために、カメラの設定を変更することができます。

（注意：　変更した設定の中には、次に変更されるまで保持されるものと、撮影モードの変更やカメラの電源をオフにすることで元に戻るものがあります。また、スマートキャプチャーモード、シーンモードでは設定できる項目が制限されます）

1. メニューボタン を押します。
2. 十字ボタンの **左・右** で タブを選択します。

   ・**［撮影］** **メニュー** → 画像サイズなど、撮影に関する設定を行います。

   ・**［設定］** **メニュー** → カメラ本体の機能設定を行います。

3. 設定する項目を選び、OK ボタンを押します。
4. 設定値を変更し、OK ボタンを押します。

撮影メニューで設定できる項目

スマートキャプチャーモードでは、 がついた項目以外は表示されません。
プログラム（P）モードでは、すべての項目が設定できます。

画像サイズ 画像の解像度を設定します。	**14MP　(4:3)**：　最高の解像度です。大きいプリントに適します。 **12.6MP　(3:2)**：　高解像度です。大きいプリントに適します。 **10.7MP　(16:9)**：　高解像度のハイビジョン比率画面（16：9） **6MP　(4:3)**：　標準的なサイズ **3MP　(4:3)**：　標準的なサイズ **2MP　(16:9)**：　ハイビジョン比率（16：9） **1MP　(4:3)**：　E メール・ホームページなど（プリントには適しません）
露出補正 画像の露出（明るさ）を調整します。	**0.0、+/−0.3、+/−0.7、+/−1.0、+/−1.3、+/−1.7、+/−2.0**
ISO 感度 センサーの感度を設定します。	**オート、ISO 80、100、200、400、800、1600**
長時間露出 長時間のシャッタースピードを設定します。	**オフ、0.5 秒、1.0 秒、2.0 秒、4.0 秒**
セルフタイマー／連写 セルフタイマーの時間および　連写モード（最高 3 枚）を設定します。	**オフ、10 秒、2 秒、2 ショット（10 秒とその後 8 秒）** **連写**
カラーモード 画像の色調を設定します。	**ヴィヴィッドカラー**：　強調された鮮やかな色調 **ナチュラルカラー**：　見た目どおりの自然な色調 **シックカラー**：　色をおさえ、落ち着いた色調 **白黒**： **セピア**：

ホワイトバランス 光源の状態を設定します。	**オート**:　自動でホワイトバランスが補正されます。 **昼光**:　自然光での撮影に適します。 **白熱灯**:　白熱電灯の下でフラッシュを使用しない場合、黄色っぽく写るのを補正します。 **蛍光灯**:　蛍光灯の下でフラッシュを使用しない場合、緑っぽく写るのを補正します。 **晴天日陰**:　自然光を利用した日陰での撮影に適します。
フォーカスモード フォーカス距離の範囲を設定します。	**オート**:　一般的な撮影に適します。 **マクロ**:　接写でシャープな画質が得られます。 **無限遠**:　遠景など、距離のある被写体に適します。
オートフォーカス／自動露出 ピントを測る領域を選択します。	**フェイス優先**:　人の顔を検出した場合、顔に優先的にピントを合わせます。 **マルチ AF**:　カメラに近い位置にある被写体にピントを優先的に合わせます。 **センター**:　ピントを測る範囲を画面中央に固定します。
AF コントロール オートフォーカスの動作モードを設定します。	**コンティニュアス AF**: 常時オートフォーカスが動作しています。 ピントを合わせるとき、シャッターを半押しする必要はありません。 （※レンズの駆動音が気になる場合は、シングル AF を選択してください） **シングル AF**: シャッターを半押しすると、オートフォーカスが動作します。
キーワードタグのプリセット キーワードタグの選択肢を設定します。	タグを設定しやすくするため、タグ設定の選択肢としてあらかじめ表示させるキーワードを設定します。 （Birthday, Holiday, Wedding というキーワードが最初にセットされています）
シャープネス 画像のシャープネスを設定します。	**シャープ** **標準** **ソフト**

設定メニューで設定できる項目

日付／時刻	日付と時刻を設定します。 (→ 7 ページ **「日付／時刻の設定をやりなおす」** を参照してください)
LCD 輝度	**ハイパワー**: 液晶画面を明るく表示します。 **パワーセーブ**: 液晶画面の明るさを調整して、電池の寿命を長くします。
(Share ボタンの設定)	(※日本国内では Kodak Gallery のサービスが行われていないため、 この機能はご利用いただけません。)
赤目補正 目の瞳孔が赤く写る事を軽減します。	**プレ発光**: 目がフラッシュに慣れるように一度発光(プレ発光)し、撮影時にもう一度発光します。 **デジタル修正**: プレ発光はせず、赤目はデジタル補正されます。 (※まれに、目以外の赤いものを黒く補正してしまう事があります)
縦横補正 縦位置で撮影された画像を90 度回転させて表示します。	**オフ**: 縦横補正を行いません。 **転送時オン**: コンピュータに転送するときに縦横補正を行います。 **オン**: 常時、縦横補正を行います。
カメラ操作音 操作音の音量、サウンドを選択します。	**音量／フォーカスロック／シャッター／セルフタイマー／エラー／電源オン** ※それぞれの機能に個別のサウンドを設定できます。
画像保存場所 画像を保存する場所を選択します。	**オート**: カメラに SD カードが装着されている場合は、SD カードに保存します。 **内蔵メモリー**: カメラに SD カードが装着されていても、内蔵メモリーに保存します。
言語	カメラの表示言語を選択します。
カメラのリセット	カメラの設定をすべてリセットします(画像は消えません)。

フォーマット（初期化） ※フォーマットを行うと、保護された画像を含むすべての画像が削除されます。 フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。	**メモリーカード：** カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **内蔵メモリー：** 内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。
カメラ情報	カメラのファームウェア情報を表示します。

6　画像をコンピュータにコピーする

撮影した画像をコンピュータにコピーするには、以下の方法があります。
通常は、①市販の『USBカードリーダー』を使ってSDカードを読み取る方法　をお勧めします。

① 市販の 『USBカードリーダー』 を使ってSDカードを読み取る（※推奨）

一般的なUSBカードリーダーの例

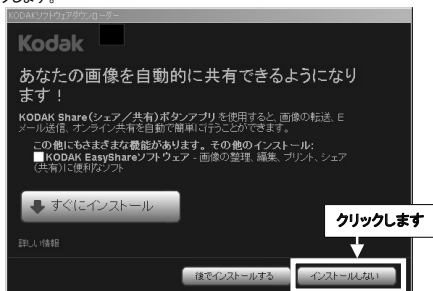
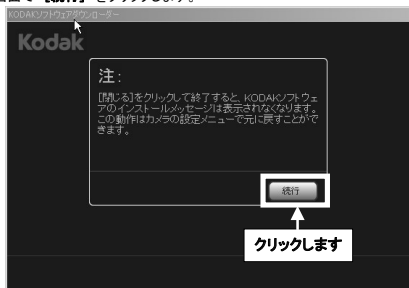
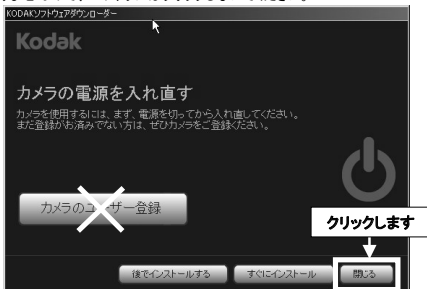
1．　**USBカードリーダーをコンピュータに接続します。**
2．　**カメラ本体からSDカードを取り出し、USBカードリーダーにセットします。**
3．　**コンピュータ上に認識されたUSBカードリーダーのアイコンをクリックし、SDカードを開きます。**

Windowsでは、マイコンピュータ（WindowsVista/7では “コンピュータ” ）の中の
「リムーバブルディスク」 として認識されます。

撮影された画像は **「DCIM」** フォルダの中に記録されます。
ここから必要な画像を、コンピュータの任意の場所にコピーします。

② カメラとコンピュータを、付属のUSBケーブルで接続する （※上級者向け）

【ご注意】
カメラにコンピュータを直接して、KODAKのソフトウェアをダウンロードすることもできますが、日本国内ではこのソフトウェアから利用できる機能が限られています。
そのため、KODAKソフトウェアはダウンロードせず、コンピュータに標準で入っている転送プログラム（→ 38ページを参照）を利用して、コンピュータに画像をコピーすることをお勧めします。

1. カメラの電源をオフにし、付属のUSBケーブルでコンピュータに接続します。
2. カメラの電源をオンにします。
3. **「KODAKソフトウェアダウンローダー」** の画面があらわれたら、**［インストールしない］** をクリックします。

4. 次の画面で **［続行］** をクリックします。

５． 次の画面で ［閉じる］ をクリックして、画面を閉じます。
「カメラのユーザー登録」はアメリカ国内のサービスです。日本国内ではユーザー登録を行っておりませんので、このボタンはクリックしないでください。

６． カメラの電源を入れなおします。
この状態から、コンピュータに標準で入っている機能を利用して画像を転送できます。

■コンピュータの OS に標準で入っている転送プログラム

Windows XP	スキャナとカメラのウィザード
Windows Vista	Windows フォトギャラリー
Windows 7	画像の取り込み　または Windows　Live フォトギャラリー(ダウンロード)
Mac OS X	iPhoto

コンピュータがカメラを認識すると、プログラムが起動します。
画面の指示にしたがって、画像の転送を行います。

※Windows、Mac OS に含まれるソフトウェアの操作等につきましては、
　各パソコンメーカー様にお問い合わせください。

6　トラブルシューティング（こんなときは？）

「故障かな？」と思ったときは、以下の項目をご確認ください。

カメラの動作について

現象	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
電源が入らない	・バッテリーを取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。 ・バッテリーの向きを確認してください （→5 ページを参照）。 ・もう一度、充電器で充電してください （→4 ページを参照）。 ・新しいバッテリーに交換してください。
電源をオフにできない 操作ができない	・バッテリーを取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。
残り枚数表示が 減らない	・故障ではありません。 ・大容量のメモリーカードで撮影可能枚数にじゅうぶんな余裕のあるときは、 しばらく枚数表示が減らないことがあります。
フラッシュが発光しない	・フラッシュ設定がオフになっていないか確認してください （→13 ページを参照）。 ・発光しない撮影モード、シーンモードもあります。
寿命（撮影枚数） が短い	・液晶モニターを長時間使用したり、フラッシュ撮影をひんぱんに行うと、 電池が激しく消耗することがあります。 ・充電式バッテリーは性質上、数年で性能が劣化します。 正しく充電しても性能が回復しない時は、新しいバッテリーに交換してください。
画像が明るすぎる	・プラス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。 ・フラッシュに近すぎる → 被写体から少し離れてください。
画像が暗すぎる	・夕方～夜　もしくは室内では、フラッシュを使用してください。 ・逆光ではフラッシュが発光しないことがあります。強制発光モードで撮影してください。 ・フラッシュと被写体の距離が遠い → 被写体に近づいてください。 ・マイナス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。
画像が鮮明でない	・レンズが汚れている → レンズ表面を柔らかい布でやさしく拭いてください。 ・被写体との距離が近すぎてピントが合っていない → 被写体から離れてください。 ・被写体から離れている時は、マクロモードになっていないか確認してください。
カードの抜き差しで フリーズした	・電池を取り外し、しばらく経ってから正しく電池を入れなおし、カメラが起動した ことを確認してからカードを装着しなおしてください。 ・カードの抜き差しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
表示可能な画像または動画がありません。	・画像保管場所の設定（カード／内蔵メモリー）を確認してください。
メモリーカードをフォーマットする必要があります。	・カードを取り出し、カードの金属接点に汚れなどがないか確認してください。汚れを柔らかい布等でふき取ってから、もう一度しっかりカメラに差し込んでください。 ・それでも改善しない場合は、カードをフォーマットしてください。 **※フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像や設定が削除されます。**
内蔵メモリーをフォーマットする必要があります。 内蔵メモリーが読めません。	・内蔵メモリーをフォーマットしてください。 **※フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像や設定が削除されます。**
メモリーカードが入っていません。	・SD/SDHC カードを正しく装着してください。
空き容量が足りません（コピーできませんでした）。	・画像をコンピュータに転送して保存するか、カメラで不要な画像を削除してください。 ・新しいカードに交換してください。
メモリーカードがプロテクトされています。	・カードのプロテクト（書込み保護）スイッチが「LOCK」になっていないか確認してください。
このメモリーカードは使用できません。	･カードがカメラに対応していないか、壊れている可能性があります。別のカードに交換してみてください。
日付･時刻がリセットされています。	・日付／時刻を再設定してください （→7 ページを参照）。
異常高温を検出しました（自動的にオフになります）。	カメラの電源をオフにして 10 分以上放置し、その後電源をオンにします。
読み込めない画像ファイルです。	・そのファイルが変更されたか、壊れている可能性があります。
カメラエラー　No.XXXX	・電池とカードを取り出し、1 時間程度置いてから再度電池を入れます。 ・カメラが正常に起動したら、いったん電源をオフにしてカードを装着した後もう一度電源をオンにしてください。 ・エラーが消えない場合は、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。

■製品に関するお問い合わせ（使い方等）:

加賀ハイテック株式会社　コダックお客様相談センター

TEL: 03-5540-9002　 営業時間　9:30～17:30 （土日祝･年末年始を除く）

10　付 録

■カメラの仕様

イメージセンサー	1/2.3 インチ CCD
有効画素数	1410 万画素 （4352 x 3240 ピクセル）
記録画素数	14MP（4:3）: 4288 x 3216 ピクセル 12.6MP（3:2）: 4288 x 2848 ピクセル 10.7MP（16:9）: 4288 x 2416 ピクセル 6MP（4:3）: 2880 x 2160 ピクセル 3MP（4:3）: 2048 x 1536 ピクセル 2MP（16:9）: 1920 x 1080 ピクセル 1MP（4:3）: 1280 x 960 ピクセル
記録メディア	SD カード／SDHC カード（別売：32GB まで動作確認済み） （SD ロゴは、SD Card Association の商標です。）
内蔵メモリー	64 MB （※画像保存用として約 32 MB）
撮影レンズ	光学 8 倍ズームレンズ f/3.3～f/5.7 （35 mm 換算： 28～224 mm）
手ぶれ補正	CCD シフト式
デジタルズーム	5 倍
液晶画面	3.0 インチ、23 万画素
オートフォーカス	TTL−AF マルチ AF、センターAF、顔優先
フォーカスモード	コンティニュアス AF／シングル AF
フォーカス範囲	0.6 m ～ 無限遠（広角・標準） 2.0 m ～ 無限遠（望遠・標準） 10 cm ～ 70 cm（広角・マクロ） 1m ～ 2.1 m （望遠・マクロ）
フェイス検出	あり
フェイス認識	あり
シャッター速度	1/4～1/1400 秒 （マニュアル設定不可）
長時間露出	オフ、0.5～8 秒 （プログラムモードで設定可）
ISO 感度	スマートキャプチャーモード: オート ISO 64～400 プログラム（P）モード: オート ISO80～400 マニュアル ISO 80、100、200、400、800、1600
測光方式	TTL−AE フェイス優先度、マルチ AF、センターAF
露出補正	±2.0 EV（1/3 EV ステップ）
ホワイトバランス	オート、昼光、白熱灯、蛍光灯、晴天日陰

フラッシュ	ガイドナンバー 7 到達距離: 0.6～3.0 m（広角）、0.7～1.7 m（望遠） （※ISO 200、スマートキャプチャーモード時）
フラッシュ発光モード	オート発光、強制発光、赤目軽減発光、オフ
セルフタイマーモード	10 秒、2 秒、2 連写(10 秒と 8 秒)
連写モード	最大 3 枚（1 コマ／秒）
撮影モード	スマートキャプチャー、プログラム、シーンモード、動画
画像記録フォーマット	静止画: JPEG（EXIF2.21） 動画: Quicktime（MOV）、コーデック: H.264、オーディオ：AAC-LC
動画サイズ	HDV（1280 x 720 @30fps）: 最長 29 分 VGA（640 x 480 @30fps）: 最大 4GB
カラーモード	ヴィヴィッドカラー、ナチュラルカラー、シックカラー、白黒、セピア
シャープネス	シャープ、標準、ソフト
コンピュータとの通信	USB 2.0、KODAK カメラ USB ケーブル（Micro B / 5 ピン）使用
ビデオ出力端子	HDMI ミニ出力
マイク	あり
スピーカー	あり
PICTBRIDGE	対応
電源	KODAK リチウムイオン充電式デジタルカメラバッテリー「KLIC-7006」、 （※専用バッテリー充電器での充電）
三脚ねじ穴	1/4 インチ
サイズ	100 x 59 x 26 mm（最厚部・電源オフ時）
重量	本体: 150g （カード、バッテリーを含まず） バッテリー: 14g
動作温度	0～40℃

※これらの仕様は、ファームウェアの更新等により予告なく変更される場合があります。

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様自身が修理可能な部品はありません。
修理については、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。

付属のバッテリー充電器は必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている
以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を
招く恐れがあります。液晶画面が破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。

■ Kodak が推奨するアクセサリー以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険があります。
■ 電流制限機能付きマザーボードを搭載したUSB 対応コンピュータを使用してください。
詳しくは、コンピュータの製造会社に問い合わせてください。
■ 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。
■ バッテリーを取り出した直後は熱くなっている場合があります。
常温の環境で、バッテリーをじゅうぶんに冷ましてください。
■ バッテリーの製造元が提供する警告および指示に必ず従ってください。
■ 爆発の危険性を避けるために、本製品専用のバッテリーを必ず使用してください。
■ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
■ 硬貨などの金属にバッテリーが触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
■ バッテリーを分解したり、向きを逆にして装着しないでください。
また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
■ 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
万一、本製品内でバッテリーが液漏れした場合は、修理が必要となります。

■ 万一、バッテリーの液漏れが皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。

■ 付属バッテリーの製品安全データシート（MSDS）は、以下URLをご確認ください。
http://www.kodak.com/eknec/PageQuerier.jhtml?pq-path=4648&pq-locale=ja_JP&_requestid=33307

■ 不要になったバッテリーは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
販売店にお持ちいただくか、以下 コダックお客様相談センター までお送りください。

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル11F
加賀ハイテック株式会社 コダックお客様相談センター （TEL: 03-5540-9002）

お手入れとメンテナンス

■ カメラ内部に水が入った場合は、ただちにバッテリーとカードを取り出してください。
■ 0℃以下または40℃以上の環境にカメラを長時間放置しないでください。
■ レンズまたは液晶画面のホコリをハンドブロワーなどで飛ばします。表面の汚れは、起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ペーパーでそっと拭きます。
クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。
日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
■ カメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体にお問い合わせください。

電池寿命について

コダック 充電式リチウムイオンバッテリー「KLIC-7006」
1回の充電につき 約200枚 の画像を撮影可能（スマートキャプチャーモード）
※ CIPA規格に準じた測定条件による目安です。
※ 実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。

■電池を長持ちさせる

・液晶画面の明るさを調整してください（→34ページ 「設定メニューで設定できる項目」を参照）。
・電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。
電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。
・低温の環境下では、電池の効率が悪くなります。
低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。
冷たくなって使用できなくなった電池は、室温に戻せば再び使用できる場合があります。

保証修理について

コダックコンシューマーデジタル製品の保証修理は、製品を最初に購入した国のみで有効です。

保証期間中、取扱いについての説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は無償修理をさせていただきます。本製品と同梱の製品保証書をお買い上げの販売店に持参いただくか、弊社お客様相談センターにご相談のうえ修理をご依頼ください。なお、記録されたデータの補償はいたしかねますのでご容赦ください。

この製品に対する保証は上記の修理に限られます。この製品が原因で生じた種々の費用、ご不便ないし不都合、精神的な損害、その他すべての付随的または間接的損害については補償いたしかねます。

次のような場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

1. 製品保証書のご提示がない場合
2. 製品保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合および製品保証書に記載の字句（型番など）を書き換えられた場合
3. ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
4. お買い上げ後の輸送、移動、落下、圧力などによる故障および損傷
5. 火災、地震、風水害、雷、その他天災事変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷
6. 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
7. 電池を長期間カメラの中に放置し、電池内の液が漏れて生じた故障

保証期間経過後の修理等についてご不明の点は、お買い上げの販売店、またはコダックお客様相談センター（TEL:03-5540-9002）にお問い合わせください。

保証の対象となる部分は本体（デジタルカメラ・ポケットビデオカメラ製品）のみで、ストラップ等の付属品および本製品に付帯している消耗品（電池類など）は保証の対象とはなりません。

保証規定については、同梱の製品保証書をご確認ください。
製品保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.The KODAK High Performance USB AC Adapter K20-AM complies with part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

カナダ通信局声明文

DOC Class B Compliance — This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Observation des normes-Classe B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

中国 RoHS

环保使用期限 (EPUP)

在中国大陆，该值表示产品中存在的任何危险物质不得释放，以免危及人身健康、财产或环境的时间期限（以年计）。
该值根据操作说明中所规定的产品正常使用而定。

有毒有害物质或元素名称及含量标识表

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
数码相机电路板元件	×	○	○	○	○	○
锂电池	×	○	○	○	○	○
交流变压器	×	○	○	○	○	○
电池充电器	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006规定的限量要求。

USB 数据线

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

オーストラリア C-Tick マーク

韓国 Class B ITE

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

韓国 Li-ion Regulatory

취급상의 주의사항

< 경고 > 발열, 화재, 폭발 등의 위험을 수반할 수 있으니 다음 사항을
a) 육안으로 식별이 가능할 정도의 부풀음이 발생된 전지는 위험할 수 있으므로 제조자 또는 판매자로 즉시 문의할 것
b) 지정된 정품 충전기만을 사용할 것
c) 화기에 가까이 하지 말 것(전자레인지에 넣지 말 것)
d) 여름철 자동차 내부에 방치하지 말 것
e) 찜질방 등 고온다습한 곳에서 보관, 사용하지 말 것
f) 이불, 전기장판, 카펫 위에 올려 놓고 장시간 사용하지 말 것
g) 전원을 켠 상태로 밀폐된 공간에 장시간 보관하지 말 것
h) 전지 단자에 목걸이, 동전, 열쇠, 시계 등 금속 제품이 닿지 않도록 주의할
i) 휴대 기기, 제조 업체가 보증한 리튬2차전지 사용할 것
j) 분해, 압착, 관통 등의 행위를 하지 말 것
k) 높은 곳에서 떨어뜨리는 등 비정상적 충격을 주지 말 것.
l) 60℃ 이상의 고온에 노출하지 말 것
m) 습기에 접촉되지 않도록 할 것

기타정보
- 폐기지침 : 각 지방자치단체의 법규에 의거하여 폐기할 것
- 충전방법에 대한 권고지침
    1 본 충전지와 함께 사용할 디지털카메라 사용자 설명서의 충전설명 참조하세요.
    2 코닥 정품 충전기 및 카메라에서만 충전하세요. (타사 충전셋 사용 금지)

제조년월 : Y = Year(제조년도의 마지막 숫자), WW = Week(제조년도의 주)
제조년월 표시 예 : 901 = 9 (2009년), 01 (첫째주)

Kodak

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

画面はハメコミ合成です。